SEIWA®
車内用気化式加湿器 保証書付き

airmist
MOISTURE AIR STORM

ユーザーズマニュアル

FS14　パーソナル気化式加湿器

このたびは、パーソナル気化式加湿器をお買い上げいただきありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

安全上のご注意 1.（必ずお守りください）

この「安全上のご注意」は、製品を安全にお使いいただき、危害や財産への損害を未然に防止するために、注意事項を絵表示しています。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示ごとに区分し、説明しています。

警告　この表示の項目事項を無視して、誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が生じる事が想定される内容」を示しています。

注意　この表示の項目事項を無視して、誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

禁止	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	!	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意 2.（必ずお守りください）

⚠ 警告

本機専用の電源プラグを使う
●火災や故障の原因になります。
●本機は12V車専用です。
●DC24V車（大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など）にはご使用になれません。

シガーソケット電源から複数の電源をとらない
●火災、故障、車両側ヒューズの断線の原因になります。

電源コードを傷つけない
●火災、感電の原因になります。
※電源コードを加工したり、傷つけない。
※電源コードを熱器具に近づけない。加熱しない。
※電源コードを抜くときは、必ずプラグを手で持って抜く。

濡れた手で電源プラグに触らない
●感電の原因になります。

右上へ続く ↗

安全上のご注意 2.（必ずお守りください）

⚠ 警　告

不安定な場所や振動の多い場所には置かない
●落ちたり、倒れたりして、故障やけが・事故の原因になります。

危険な場所には置かない
●運転の妨げになる場所には設置しないでください。事故の原因になります。

水で濡らさない
●水につけたり、かけたりすると、故障や感電の原因になります。

分解や改造をしない
●故障や感電の原因になります。

鼻や口に直接あてて吸入しない
●本機は吸入器ではありません。
●体調不良などの原因になります。

お車の運転中は、操作しない
●自動車事故の原因になります。

異常が起きたとき
●煙が出たり、異臭がするときは、電源プラグを抜いてください。事故や故障の原因になります。

⚠ 注　意

必ず常温の水道水または精製水を使用する
●井戸水、薬品、市販の香水などは使用しないでください。故障や事故の原因になります。

ボトルの水位線以下に、水道水や精製水を入れる
●水位線（FULL）以上に水道水や精製水を入れるとボトルからこぼれる恐れがあり、車内や周囲を汚す原因になります。

水道水や精製水がボトルに無い状態で、本機を運転しない
●噴霧不良や故障の原因になります。電源を切って、補水してください。

水が入った状態で本機を移動させない
●水がこぼれて故障の原因となりますのでお止めください。

長期間使用しないときは、ボトルの水道水や精製水を捨てる
●長期間使用しないときは、衛生上、ボトルの水や精製水を捨ててください。また、電源も切ってください。
●再使用する場合は、新しい水道水や精製水をご使用ください。

ボトル内の水がカラの状態では絶対に運転（電源ON）にしない
●加湿フィルターが劣化します。

ちりやほこりが、極端に多い場所で使用しない
●噴霧不良の原因になります。

長期間の閉め切った自動車室内には放置しない。直射日光のあたる所や発熱器具に近づけたりしない
●本機の変形・変色や故障の原因になります。
●本機の使用・保管温度は、0℃から40℃の範囲です。

水が凍結する場所に放置しない
●冬場の自動車室内など、凍結をするような場所に放置しないでください。
●室内の凍結しない場所に保管してください。
●本体やボトル内部の水が、凍結して破損や故障の原因になります。
●万一、凍結した場合は熱水などを入れないで、暖かい場所に移動して自然に解凍するまで待ってください。

本機やボトルを落下させたり、強い衝撃を与えない
●破損や故障の原因になります。

本機を転倒させない
●転倒させますと水がこぼれ故障の原因となります。

加湿フィルターを定期的に洗浄する
●水または、ぬるま湯で加湿フィルターをこまめに洗浄してください。汚れている場合は、そのつど洗浄してください。洗浄の際は、引っぱったり無理な力を加えないでください。

使用期間の過ぎた加湿フィルターは交換する
●使用期間の目安としまして加湿フィルターの接着部の剥がれ、変形などありましたら交換してください。また、洗浄しても落ちない汚れが付きましたら交換してください。

吸気口・排気口の掃除をする
●掃除機でホコリを吸い取ってください。詰まってしまいますと機能が低下致します。

テレビ、ラジオなどに雑音が入らない場所で使用する
●テレビ、ラジオなどに雑音が入る場合は、設置場所を移動して雑音の影響を受けない場所を選んでください。

精密機械を置かない
●本機の周囲が濡れることがあり、周囲に精密機器を置かないでください。

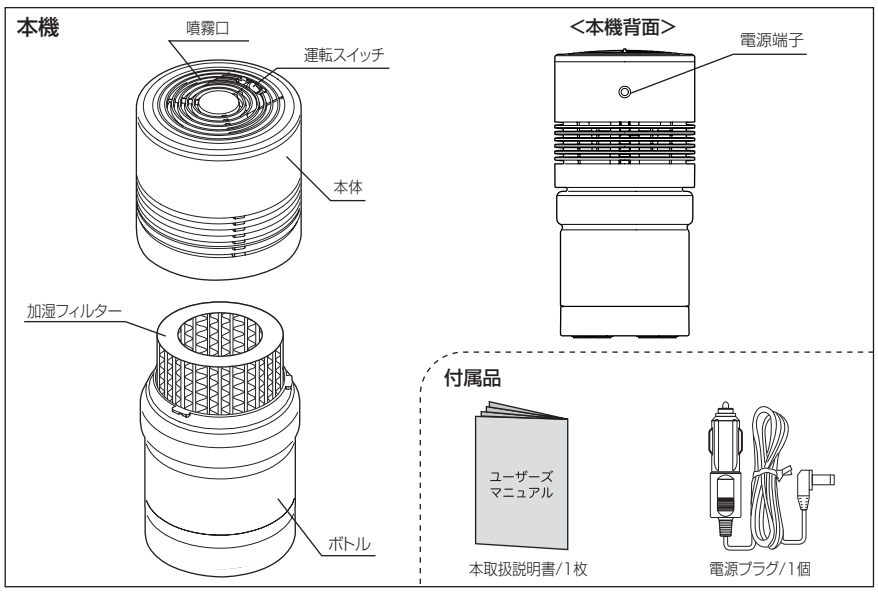
吸気口・排気口に異物を入れたり、ふさがない
●噴霧不良や故障の原因になります。

本機は自動車用（車内）です。業務用や船舶用には使用しない
●破損や故障の原因になります。

■本書（取扱説明書）に記載した警告・注意・指示・内容に反してご使用をされた場合の保証は致しかねますので、ご了承ください。

左下へ続く ↙

各部の名称

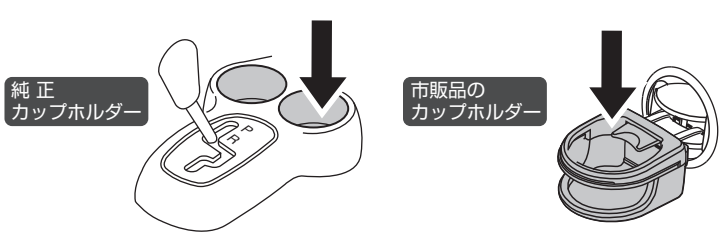


お使いになる前に 1.

1. 自動車に本機を設置

設置場所
①本製品を水平で安定したカップホルダー（純正・市販品問わず）に、丁寧に入れてください。
②収納後に本製品が、傾いたり、ぐらぐらしないかご確認ください。

【ご注意】
◇**下記に該当するカップホルダーには設置しないでください。**
・ドア掛け、ドアポケットタイプ→電源プラグを使用するため、ドア開閉するときに危険性があります。
・マグカップが置ける大きいサイズのもの→倒れる危険性があります。
・移動するとぐらついたり、ホールド性が低く不安定なもの→倒れる危険性があります。

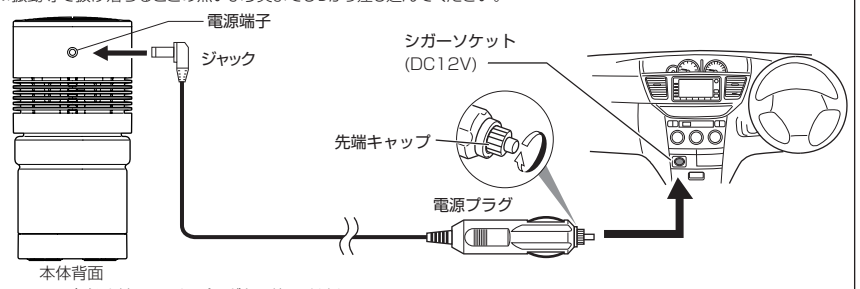


※車種によっては取り付け部分が多少変色したり、日焼けによる取り付け跡が残る場合があります。

右上へ続く ↗

2.電源プラグの接続

■付属の電源プラグをシガーソケットに差し込み電源をとる
●シガーソケット内のゴミ、灰等をよく取り除き電源プラグを差し込んでください。汚れたまま電源プラグを差し込むと接触不良の原因になります。
●本体背面の電源端子にジャック（電源プラグ）を奥までしっかりと差し込んでください。
※振動等で抜け落ちることの無いよう奥までしっかり差し込んでください。



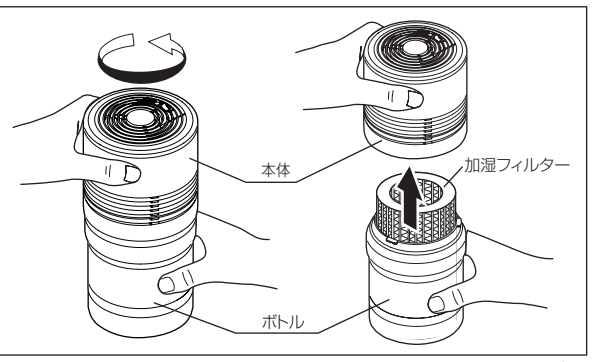
⚠ 注意
◇必ず付属の電源プラグをご使用ください。
◇電源プラグ～本体まで約2mのコード長がありますが、ご希望の設置場所まで届かない場合は、市販のDC12V延長コードをご使用ください。（別売:多極ソケット等を接続してください。）
※コードを切断・結線してのご使用は、大変危険ですので絶対におやめください。
※運転に支障がきたさないようにコードの取り回しをあらかじめご確認をしてください。
※走行中に電源プラグの先端キャップが緩くなることがありますので、ご使用前に増し締めを行ってください。
※電源プラグは振動などによりゆるむ場合がありますので、定期的に奥まで差し込んでください。
※電源プラグを抜く際は、必ず電源プラグの根元をしっかり持って、シガーソケットに対し水平にゆっくり抜いてください。回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。

お使いになる前に 2.

【ご注意】
●ボトルに入れる水は常温（20°±15°C）の水道水、精製水以外は使用しないでください。
●絶対に熱湯を入れないでください。
●ご使用になるお車の取扱説明書をご覧になって、安全を確認の上、下記の作業を行ってください。
●浄化された湿った空気排気する気化式のため超音波方式・スチーム方式のように蒸気や霧は見えません。
●本機を使用中ウィンドウがくもった場合は、ご使用をやめてくもりを取り除いてください。運転の妨げになります。
●車内の湿度や温度により加湿量が変わります。湿度が高い時、温度が低い時は、水が気化しにくい為、加湿量が少なくなります。また車内の湿度が低いとき、温度が高いときは加湿量が多くなります。
●空調の設定により効果が得られない場合がございます。

1. ご使用前の準備

ボトルをはずす
①電源が入っていない（電源プラグを抜いた状態）事を確認してください。
②本体とボトル部分を手でしっかりともって、本体を左に回り（反時計回り）してください。
③本体を上に持ち上げてボトルを外してください。
④ボトルから加湿フィルターを取り外してください。

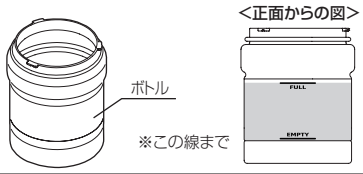


裏面へ続く ↩

ボトルに水を入れる

④水道水、精製水の水位線「FULL」の線まで入れてください。
※ボトル内に水が残っている場合は捨ててください。
※水位線以上入れますと、こぼれるおそれがありますし、加湿機能も低下してしまいますので絶対に満水以上入れないでください。

<正面からの図>

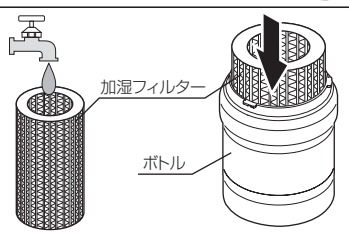


※きれいな容器に水道水または精製水を入れて、設置したボトルの中に注いでください。

加湿フィルターを入れる

⑤加湿フィルターをあらかじめ**水で湿らせてください。**
⑥ボトルの中に水が入っていることを確認してから、付属の加湿フィルターを入れてください。

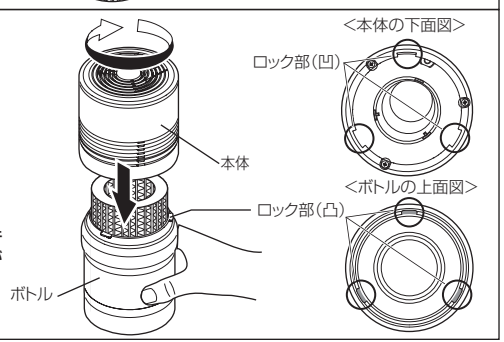
【ご注意】
加湿フィルターを乾いたまま入れますと、湿った空気が出るまでに時間がかかります。



ボトルとを本体に取り付ける

⑦ボトルのロック部(凸)と本体のロック部(凹)が合うようにして、本体とボトルが接したところで本体を右に回して(時計回り)「カチッ」とロックされるところまで回転してください。
⑧取り付けができましたら、カップホルダーに設置してください。

【ご注意】
・ボトルを手でしっかり固定してください。
・水の交換の際はタンクを傾けないよう注意して行ってください。水が入っている時に傾けますと水がこぼれます。

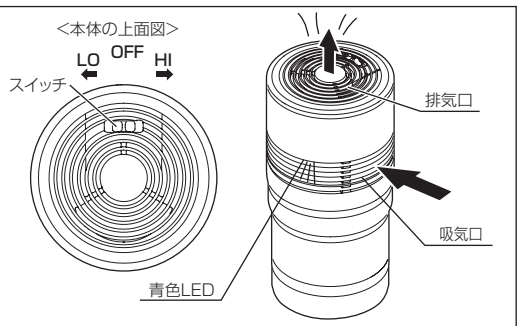


ご使用方法 1.

1. 起動～運転終了

スイッチをスライド
①スイッチをスライドさせて、HIGHまたはLOWでファンが回転し、青色LEDが点灯します。

【ご注意】
●気化式なので目で確認できませんが湿った空気か排気口より出てきます。
●吸気口から空気を吸っていますので、吸気口を物なのでふさがないでください。
●ファンの音が気になる方は、LOWモードでご使用ください。



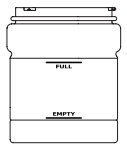
右上へ続く↗

水の補給

①ボトルの水がEMPTYラインまで減ったら、水を水位線「FULL」の線まで入れてください。

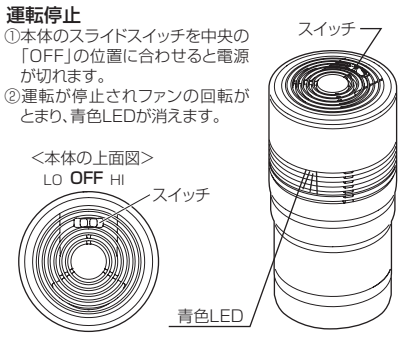
【ご注意】
水を補給される際は運転を停止し、電源プラグ、ジャックを外してから行ってください。
②運転を再開する際は、「ご使用の準備(4ページ)」の最初から操作を始めてください。

<正面からの図>



運転停止

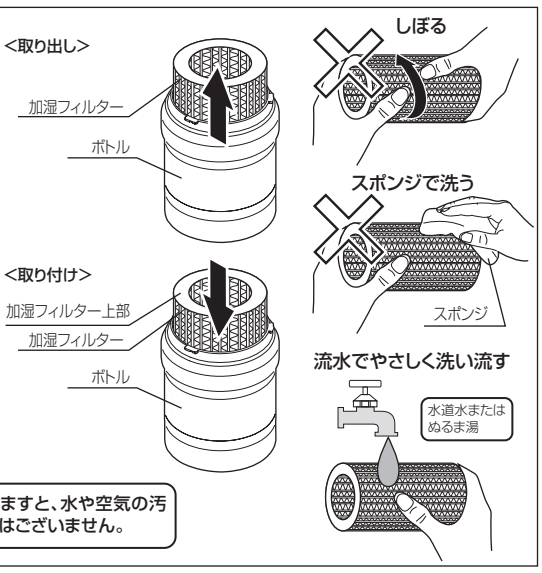
①本体のスライドスイッチを中央の「OFF」の位置に合わせると電源が切れます。
②運転が停止されファンの回転がとまり、青色LEDが消えます。



お手入れ方法 1.

1. 加湿フィルターの洗浄

【ご注意】
●ボトルから加湿フィルターをゆっくり引き抜いてください。
●水道水またはぬるま湯でよくすすぎ洗いしてください。使用前に必ず洗ってください。水垢やホコリが付着したままご使用頂きますと衛生的にもよくありません。及び機能を低下させる要因にもなります。使用頻度が高い方は1週間に1度を目安にしてください。ご使用する前に加湿フィルターの洗浄を推奨致します。
●洗い終わりましたらタンクの所定位置に差し込んでください。(図参照)
※洗浄の際に加湿フィルターに力を加えないようにご注意してください。破損するおそれがあります。(しぼる・スポンジで洗うなどの行為は行わないでください。



※加湿フィルター上部がご使用していますと、水や空気の汚れで汚れてきますが、ご使用上、問題はございません。

2. 加湿フィルターの交換時期の目安

●使用状況によって異なりますが交換時期は約1年で別売り加湿フィルターと交換してください。
●交換時期の前でも接着剥がれや変形があった場合は交換してください。交換方法は「お手入れ方法1」を参照してください。
●交換加湿フィルターはお買い求めいただいたお店にてご注文してください。(部品品番:FS15)

【ご注意】
●アルコール、ベンジン、シンナー、洗剤等の溶液で拭いたり、本体に直接水をかけたりすると、破損や故障の原因になります。
●お手入れするときは、必ず運転を停止して、電源プラグを抜いてください。

左下へ続く↙

3. 保管に関して

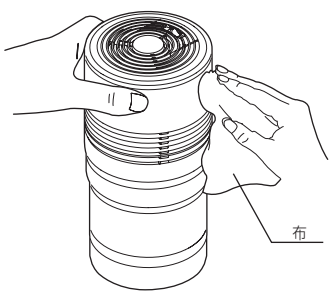
長期間ご使用にならない時は、ボトルの水は捨て、ホコリや高温多湿の場所を避けて保管してください。加湿フィルターは乾燥してから、ボトルの中に保管してください。(ドライヤー等で乾燥させないでください。)

お手入れ方法 2.

1. 本体の清掃

①本体は乾いた布かまたは水を固く絞った布で拭いてください。

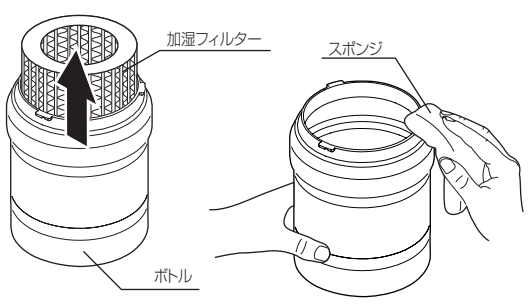
【ご注意】
●アルコール、ベンジン、シンナー洗剤等の溶液で拭いたり、本体に直接水をかけたりしますと破損や故障の原因になります。
●お手入れする際は必ず運転を停止して電源プラグを外して行ってください。
●絶対にファンに水をかけないでください。故障の原因となります。



2. ボトルの洗浄

①ボトルを本体から取り外し、中から加湿フィルターを取り外して水で洗浄してください。

【ご注意】
●汚れが酷いときは小さいスポンジで中性洗剤を使用しタンクの中を洗浄してください。洗剤成分が残らないよう水でよく濯いでください。
●スポンジでこすり過ぎますと傷が付く可能性があります。注意してください。

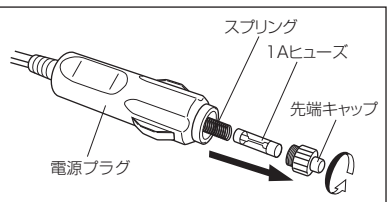


ヒューズの交換方法

■電源プラグ内のヒューズを交換する場合

●電源プラグに1Aヒューズが入っています。もし切れた場合は、先端キャップを外し必ず同じアンペア数のヒューズに交換してください。

※指定数以外のヒューズを使用すると、トラブルの原因になります。



右上へ続く↗

故障と思ったら･･･?

■修理に出される前に今一度ご確認ください。

●**電源が入らない?加湿しない?と思ったとき**は、修理に出す前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、次の項目をご確認ください。

□**付属の電源プラグは差し込まれていますか?**
→本体とジャック、車のシガーソケットと電源プラグをしっかり差し込んでください。
□**電源プラグ内蔵のヒューズは切れていませんか?**
→ヒューズをご確認ください。切れている場合は、同じ1Aヒューズを交換してください。
□**車側のアクセサリー(シガー)ソケットのヒューズは切れていませんか?**
→ヒューズをご確認ください。切れている場合は、同じアンペア数のヒューズに交換してください。
□**車のエンジンは、かかっていますか?**
→車のエンジンをかけてください。一部のホンダ車や外車を除きエンジンを掛けませんとシガーソケットは通電状態になりません。
□**水が減らない。排気口から風が出てこない?**
→本体とジャック、車のシガーソケットと電源プラグ及びスイッチを確認してください。
□**加湿フィルターの上まで水が浸透していない?**
→一度、加湿フィルターを水で湿らせてください。

※すべての項目で、問題事項が見受けられなかった時、お買い求めの販売店または、弊社お客様相談センターにて修理を承ります。

保証とアフターサービス

■保証書(梱包箱の側面)

●お買い求めの際、お買い上げ日、販売店名などの記入があるか確かめてください。内容をよくお読みの上、箱ごと保管してください。

■保証期間

●**お買い上げから1年間(本体のみ)。**

■保証期間中の修理

●お買い求めの販売店または弊社にご相談･お問い合わせください。必ず保証規定に従って、保証書の記載内容により修理いたします。

■保証期間後または期間内でも保証範囲外の修理となる事例

●お買い求めの販売店または弊社にご相談･問い合わせください。修理により、機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。
●誤った使用(水道水、精製水以外の液体を使用した場合)が原因で噴霧不良の故障になった場合にも、有料交換になります。
●本機の故障の場合にも絶対に分解しないで、お買い求めの販売店または弊社にご相談ください。

※修理可能期間

●生産中止から、一定期間は修理が行えますが、部品の在庫がきれた際は、修理をお受けできなくなる場合があります。

※仕様及び外観は、改良のため予告なしで変更する場合がありますのでご了承ください。
※この製品は日本で企画･設計され、中国で製造されたものです。

本製品に関するお問い合わせは…☎ 047(420)0755
受付時間/AM10:00～PM6:00月曜日～金曜日(祝日休業)
〒273-0023 千葉県船橋市南海神1-2-5

発売元 株式会社 セイワ http://www.seiwa-c.co.jp
〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地